

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成31年2月22日
学校名	埼玉大学附属特別支援学校
PTA会長名	渡部 正元

実施概要	実施活動名	親父の会主催 「七夕竹飾りと親子レクリエーション」 ～第47回大宮日進七夕まつりへの出展・参加～
	実施日時	平成30年7月22日(日)七夕竹飾りと親子レクリエーション 平成30年8月6日(月)(火)大宮日進七夕まつり参加
	実施場所	七夕竹飾りと親子レクリエーション：埼玉大学教育学部附属特別支援学校 大宮日進七夕まつり：日進駅前商店街
	実施目的	地域の方や親子での作品作りや懇親会をとおり、障害のある子どもたちへの理解を深める。 地域のまつりへの出展をとおり、地域社会への障害のある子どもたちへの理解を促す。
	実施内容	大宮日進七夕まつりで出展する作品の制作 水遊びやクレーンゲーム等のレクと、かき氷やチョコバナナなどの軽食を介した懇親会 大宮日進七夕まつりでの作成した竹飾りの出展と参加
	実施方法	親父の会主催として開催する。午前中は地域の方をお招きして「七夕竹飾り」の作り方を教わる。親子で短冊に願い事を書いたり、お花紙や折り紙で飾りを作ったりして、竹飾りに取り付けていく。午後は、校舎内や校庭で水遊び等のレクをしたり、かき氷やチョコバナナ、ベーコンやウインナーを食べながら交流を図ったりすることで障害のある子供たちへの理解を深めていく。今年度は猛暑で熱中症への不安もあるため、健康面での配慮を環境面で整えたり、塩水分補給に繋がる飲食物を用意したりするなどして熱中症予防への啓発と理解を促す。作った七夕竹飾りは8月6日、7日に行われる「大宮日進七夕まつり」に出展することで、地域の方々に本校の取り組みや障害のある子どもたちへの理解を促す。
参加人数	地域の方、在校児童生徒、家族、および教職員 合計170人	

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮日進七夕まつりで出展する作品の制作 ① 輪飾り作り ② 花紙作り ③ 短冊作り ④ 飾りの取り付け ・水遊びやクレーンゲーム等のレクと、かき氷やチョコバナナなどの軽食を介した懇親会 ・大宮日進七夕まつりでの作成した竹飾りの出展と参加 ① 出展場所への移動 ② 取り付け ③ 七夕祭りへの参加 ④ 撤収
	結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方をお招きして、飾り作りや取り付け方を教わりながら2つの飾りを完成させた。 ・親子レクリエーション当日は、外気温が高かったため、野外での活動は控え、校舎内に遊具等を準備することで対応した。食事は、校舎のテラスにテントを立てて日陰の中で受け取り、室内で食べるようにしたことで安全に取り組めた。 ・出展場所への移動と撤収は教員と保護者で、取り付けは地域の方々と行った。祭りは3日間の中で児童生徒、保護者が地域の方々と教員と作品を見たり話したりするなど関わりをもった。
	所感	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、保護者、教員、地域の方で協力して活動する中で、講師としてお招きした地域の方々の児童生徒との関わり方の変容が見え、障害への理解や本校の児童生徒の特性についての理解が深まったように感じられた。 ・七夕レクでは親子が中心となって行われ、地域の方々の参加は多くはない。直接的な関わりに加え、間接的であっても、実際に児童生徒や学校の取り組みへの理解をより促す改善が必要である。 ・お祭りに参加している一般の方々も、本校の作品や学校名を見ることで地域の中にある学校であることを知る機会となっていた。課題としては、障害や本校の特性を理解するまでにはいたらないので、その理解を促す改善が必要である。

添付書類

収支決算書 領収書添付シート 参加感想(児童・生徒の声) 参加感想(保護者の声)

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成31年2月22日
学校名	埼玉大学附属特別支援学校
学年	小中高等部

- ・かわいい飾りがつくれてうれしかった。(小学部)
- ・先生がやさしく教えてくれたのでじょうずにできた。(中学部)
- ・みんなでがんばったのでいい作品ができた。(高等部)
- ・いろいろな味のかき氷があっって楽しかった。(小学部)
- ・お父さんたちが作ってくれたお肉がおいしかった。(中学部)
- ・友達と水のかけあいをしたのが気持ちよかった。(高等部)
- ・飾られている作品がきれいだった。(小学部)
- ・作品をほめてもらってうれしかった。(中学部)
- ・自分たちの作品がたくさんの人に見てもらえてうれしかった。(高等部)



カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成31年2月22日
学校名	埼玉大学附属特別支援学校

父親

- ・ 役員の方は準備や運営は大変であったと思うが、いろいろなお父さん方や地域の方と話す機会ができてよかった。
- ・ 気温が高く、体調面で心配だったが、機転を利かせて室内中心のレク活動にしたり、日陰での調理にしたりと臨機応変に対応してくださり、安全に、楽しく過ごすことができてよかった。
- ・ 地域のかたが飾りの作り方をやさしく教えてくださるので、子供も安心して取り組むことができていた。

母親

- ・ 親子で七夕祭りに参加して、飾られている作品を見ていると、学校と地域の結びつきの強さを感じて嬉しく思った。
- ・ 暑さが気になった。開会行事を体育館ではなく、エアコンのあるしいの木ハウスでできるとよいと思った。
- ・ 自分たちだけは作るのも教えるのも大変だが、地域の方が教えてくださるこのような取り組みはありがたい。今後もいろいろな人との関わりをもてるよい機会として続けられるとよいと思う。

教職員

- ・ お父さん主催の行事は、毎年趣向を変えて取り組んでくださり、子供たちにとっても楽しい行事となっている。こんなにたくさんのお父さん方で協力して取り組んでいるのは本校の特長の一つだと思う。

